

## 今回の避難訓練のポイント

### 1. 今回の災害の想定(土砂災害と地震の2つの災害の避難訓練を行います。)

#### (1) 土砂災害に関する避難訓練(10分程度)

連日雨が続き、学校の敷地内で土砂崩れが発生する。職員は情報収集班を中心に情報収集・現場確認(今回は情報収集のみ)を行い、管理職に伝える。B棟にいる生徒と職員は避難指示に従い図書館に避難する。

#### (2) 地震避難訓練

その後、地震の避難訓練を実施するので、指示をよく聞いて第1体育館に避難する。図書館に避難した職員と生徒はそのまま図書館から第1体育館に避難する。

### 2. 倒壊ブラインド方式(地震の避難訓練)

職員に避難訓練の日程は伝えるが、倒壊場所は管理職と防災主任のみが知っているより実践的な避難訓練の方法である。職員は避難場所まで倒壊場所を避けて避難するように生徒に指示をします。

### 3. 速さから考える避難訓練へ

素早く避難することは大切だが、倒壊場所を避けながらより安全に避難することがより大切である。状況をよく考えて避難するときには冷静になり誘導・避難を行ってほしい。

※本校には土砂災害警戒区域(B棟、第1体育館と農場の間)があり土砂災害の避難訓練が必要となります。今回は時間の都合上簡易的に行います。土砂災害の避難訓練のみになると一部の生徒のみの避難となりますので、地震の避難訓練も行います。

- 1 目的：**
- ①避難経路の確認及び防災に対する意識の高揚
  - ②災害発生時における安全で敏速な集団行動の習得
  - ③的確な情報把握・避難指示、正確で迅速な点呼確認(職員研修)

- 2 日時：** 令和3年(2021年)11月17日(水) 14:35~15:25 LHR  
※終了後 食農科学科、林業科は終礼、普通科は7限

### 3 避難場所：

- (1)土砂災害の避難訓練(図書館) ※B棟にいる生徒と職員のみ (2)地震の避難訓練(本校第1体育館)

- ① 本来地震の避難場所はグラウンドになります。今回は土砂災害の避難訓練を行うことと消防署の実演をお願いしているので、時間の都合上第1体育館に避難することにします。
- ② 放送で倒壊した場所を聞き、どの経路で避難するかを各クラスで授業担当者が生徒に口頭で確認する。
- ③ 倒壊場所ブラインド方式を採用し、緊急放送で連絡・指示しますので、体育館までの最善の避難経路のご指示及び途中誘導をお願いします。

- 4 指導者：** 本校職員全員、上益城消防署、熊本県土木部河川港湾局砂防課(アドバイザー)  
熊本県立済々黌高校(アドバイザー校)

### 5 避難経路指示：

- 本校職員全員
- (1) 授業担当者：各教室の生徒安否確認、避難指示、点呼
  - (2) 他職員：避難経路指示及び各棟の安全確認

## 6 日程等：

(1) 朝SHR時 訓練内容の確認 各クラスの避難方法及び点呼方法を確認

※貴重品管理の指示、配慮生徒の把握をお願いします。

(2) 事前打ち合わせ 14:00 上益城消防署

熊本県土木部河川港湾局砂防課 (アドバイザー)

熊本県教育委員会 学校安全・安心推進課

本校防災担当者 (河野)

## 7 避難訓練内容：

(1) 土砂災害に関する訓練 14:35~14:45(10分程度) ※B棟(食農科学科教室)の職員、生徒のみ

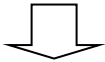
① 情報収集班(総務部)が下記のサイトより気象情報などの情報を収集する。

・気象情報 気象庁(<http://www.jma.go.jp/>)

→ キキクル(危険度分布) → 土砂キキクル

・熊本県防災情報メール (<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>)

※今回は時間の都合上現場の確認は省略

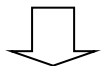


② 情報収集班(総務部 斎藤)は管理職(水村教頭)に気象情報などの報告を行う。

情報収集班：

「訓練です。気象庁のホームページの土砂災害の危険度分布において、警戒レベル4相当(非常に危険)に上がっています。管理職で避難等の判断をお願いします。」

教頭：「了解しました。校長と確認の上、指示します。」



※教頭から校長へ連絡(今回は時間省略のため電話で行う。)

③ 管理職の指示(※今回は電話連絡)と放送

教頭「気象庁のホームページの土砂災害の危険度分布において、警戒レベル4相当(非常に危険)に上がっているとの報告を受けました。気象庁のホームページを改めて確認の上指示をお願いします。」

校長「B棟食品科学科と農場の間では土砂が崩れる恐れがありますので、B棟にいる生徒と職員は図書館へ避難するよう連絡をお願いします。」

教頭「了解しました。」

緊急放送1 職員室(教頭)

訓練です。訓練です。緊急放送です。連日の大雨でB棟食農科学科と農場の間では土砂が崩れる恐れがあります。連日の大雨でB棟食農科学科と農場の間では土砂が崩れる恐れがあります。よって放送による指示をよく聞いてから行動してください。まずB棟にいる職員は生徒へ避難経路の指示をしてください。学級委員は出席簿を持ってください。移動の際は「押さない、慌てない、しゃべらない」を守ってください。避難場所は図書館です。避難を開始してください。図書館への避難を開始してください。

※情報収集班(総務部及び防災担当者)は雨が連日になるときは上記サイトより情報を収集し、管理職に連絡しておく。また、情報収集後職員及び管理職は該当箇所の安全確認を行う。(今回は省略)



#### ④ 図書館で点呼

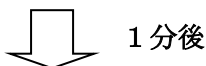
職員は生徒の点呼をとり終了。（引き続き地震避難訓練へ、避難した生徒はそのまま図書館で待つ）

### (2)地震避難訓練 14:45～15:25(40分程度)

(1) 放送 14:45

①緊急放送2 職員室（教頭）

引き続き地震の避難訓練を行います。訓練です。訓練です。緊急放送を行います。先程、地震が発生しました。揺れは収まりましたが、現在、校内外の安全確認を行っています。生徒は余震に備え、頭部を守り、その場で待機してください。生徒は余震に備え、頭部を守り、その場で待機してください。職員は安全を確保しつつ生徒の安否確認をしてください。安全確認の後に、避難方法について連絡します。



② 緊急放送3 職員室（教頭）

訓練です。訓練です。緊急放送です。先ほどの地震で（D棟2F林業科教室と普通科職員室の間の廊下にある照明機器が落ちて通れない）状態になっています。先ほどの地震で（D棟2F林業科教室と普通科職員室の間の廊下にある照明機器が落ちて通れない）状態になっています。よって放送による指示をよく聞いてから行動してください。まず職員は生徒へ避難経路の指示をしてください。ドアを開け、頭部保護のため教科書等の準備をしてください。学級委員は出席簿を持ってください。移動の際は「押さない、慌てない、しゃべらない」を守ってください。避難場所は第1体育館です。避難を開始してください。全員、第1体育館への避難を開始してください。

(2) 14:50 避難開始（迅速に避難する。）

(3) 14:57 第1体育館集合 クラス別に名簿順に整列、点呼（学級委員）  
※密にならないよう間隔をとって整列する。

(4) 15:00 講評・消防署による防災に役立つ実演（消防署）（15分程度）

(5) 15:15 熊本県土木部河川港湾局砂防課 講評（5分）

(6) 15:20 連絡（防災主任）

(7) 15:25 終了（終了後 食農科学科、林業科は終礼、普通科は7限）

## 8 実施方法：

(1) 地震対応

①地震発生時、机の下等に入り安全を確保する。

②生徒の安否確認をして、避難経路の指示をする。（授業担当者）

(2) 避難方法（倒壊場所ブラインド方式）

①避難経路を十分に理解し、安全で迅速に避難する。

②訓練では実際と同じ緊張感を持ち、真剣に取り組む。東日本大震災と熊本地震の教訓を忘れない。

③全職員で、避難誘導、整列指示、点呼

(3) 点呼方法（生徒）

①担任もしくは副担任による生徒点呼 → 学年主任 → 教頭 → 校長 → 消防署職員

■報告の仕方…「クラス名、在籍〇名、欠席〇名、現在数〇名、異常はありません。」

「クラス名、在籍〇名、欠席〇名、現在数〇名、〇号〇〇が行方不明です。」

②欠席には早退者、保健室在室者を含む。

③病気や足を怪我している生徒も、職員や級友の協力の下、出来るだけ避難する。

④配慮が必要な生徒は、5限後保健室へ移動するようご指示をお願いします。担任の先生は該当生徒を事前に河野までお知らせください。

⑤全体集合隊形（コロナ感染対応 密を避ける）

ステージ

3年担任	2年担任	1年担任
A F OA OB	A F OA OB	A F O
各クラス2列 (名簿順)	各クラス2列 (名簿順)	各クラス2列 (名簿順)
副担任	副担任	副担任

(4) 点呼方法（職員）

教科主任による職員点呼 → 教頭 → 消防署職員

■報告の仕方…「〇〇科、職員〇名、出張年休〇名、現在数〇名、異常はありません。」

「〇〇科、職員〇名、出張年休〇名、現在数〇名、〇〇先生が行方不明です。」

## 9 準備：

(1) 企画・立案（防災主任）

(2) 放送用マイク・写真撮影・体育館の開錠・施錠（総務部）

## 10 連絡・その他：

(1) 荷物は持たず、私語をせず速やかに行動すること。※朝SHRで貴重品袋を活用ください。

(2) 階段の昇降には特に注意すること。

(3) 出欠統計委員は、移動教室であっても必ず出席簿を持ってくること。

(4) 避難訓練は、職員が生徒の安全を確保するための訓練なので、職員研修に位置付けます。

### 本校配置図

